

# 開会挨拶

## 日本経済調査協議会 専務理事 奥 雅文

皆さま、お待たせいたしました。これより、日経調公開シンポジウム「林業から脱却、もうかる森林産業へ」を開始いたします。

私は日経調・専務理事の奥でございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。平素は日経調の活動にご理解・ご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。

当会は本年3月に設立50周年を迎えましたが、これを新たな節目として、引き続き中立性・独自性という日経調らしさを発揮した調査研究活動を行ってまいれる所存でございますので、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日のご案内状に記載の通り、当・日経調では2010年6月に調査専門委員会「未来を創る森林産業改革委員会」を立ち上げました。

委員長には、こちらにおられます元・農林水産事務次官で、現在日本プロ農業総合支援機構 理事長でいらっしゃいます高木勇樹様をお願いし、主査には追手門学院大学教授・経営学部長の梶原 晃先生をお願いしました。

委員会の委員には学界、産業界、林業現場の経営者の方など、多くの専門家にご就任いただき、また多彩な外部講師の方々を随時お招きしてお話しをうかがいました。約2年間にわたる調査・研究活動を行いまして、先般「持続する森林経営を実現するための5つの提言 ～森林資源管理から、もうかる森林産業へ～」と題する提言・調査報告書を発表いたしました。本日も、お手元にお配りしております。

この報告書でも述べております通り、わが国の森林・林業について見ますと、国土の約70%を占める森林資源が有効に活用されておらず、また林業も産業としては十分成り立ってはいないという問題意識を持っております。



本日のシンポジウムでは、日経調の提言内容をご説明するほか、日本の林業の実態、および特に重要なポイントとして、川下である需要の拡大を図るにはどうしたら良いのか、という点に重点をおいて、学界、産業界、行政と幅広く各界からパネリストの皆様をお招きし、ご講演、事例発表、ならびにパネルディスカッションを行っていただくことといたしました。

「森林・林業再生プラン」の主管庁である林野庁様には本日のシンポジウムの趣旨にご賛同いただき、「後援」についてご快諾をいただき、末松林政部長様にもパネリストとしてご参加いただいております。

会場は定員 100 名ですが、ほぼ満員でございまして、若干窮屈かと存じますが何とぞご容赦下さい。のちほど会場の皆様からのご質問・ご討議も予定しておりますので、どうぞ積極的なご参加をお願いいたします。

なお、事前のご案内では日経調の提言内容について、主査をお務めいただいた梶原先生にご説明いただく予定でしたが、大学の関係で本日どうしても来られない事情が発生し、まことに恐縮ですが本日これからの総合司会もお願いしております高木委員長様に、委員長挨拶に続けて提言内容のご説明をお願いすることとさせていただきます。何とぞご了承下さい。

それでは高木委員長、よろしくお願いいたします。

以上